

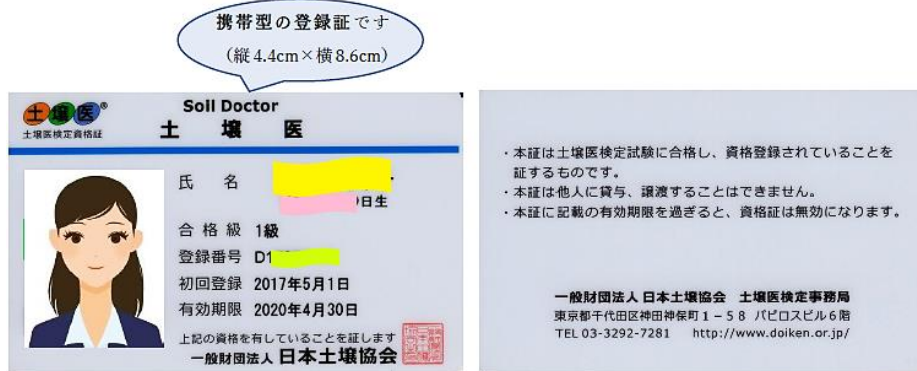
土壤医等資格登録と土壤医の会への入会案内（2021年版）

土壤医等資格登録をし、土壤医の会に入会すると資格の活用場面が広がり多くのメリットが発生します！！

土壤医等資格登録のメリット

1. 名刺等に資格名を掲載することが可能です

- ◆(一財)日本土壤協会に資格登録することによって名刺等に土壤医等の資格名称を使うことができます。
- ◆申請により携帯型の登録証を発行します。(有料)



2. 資格登録者間のネットワークが広がりやすくなります

- ◆情報交流と研鑽の場である土壤医の会の会員になれる(複数の土壤医の会の会員になることも可能)とともに、新たに土壤医の会を結成する場合、組織化の核になります。(土壤医の会の結成には資格登録者3名以上が必要)
- ◆今年度よりスタートした農林水産省助成事業「データ駆動型土づくり推進事業」(◆実施主体:土壤医の会全国協議会、土壤協会等による推進協議会、◆内容:土壤診断に基づく作物生育等の改善とそのデータベース作成・活用、◆実施状況:土壤医資格登録者が中心となり現在約3,000圃場で推進)の参加呼びかけ対象(連絡先登録の場合)となります。

3. 研修会等の参加費が割引されます

- ◆土壤医資格登録者は土づくり推進フォーラムの講演会とシンポジウム(各年1回)や土づくり実践研修会他各地で行われる土壤医ブロック研修会の参加費が割引されます。
- ◆土壤医の会の正会員になると、資格活用面で様々なメリットが出てきます。

(表 1) 土壌医等資格登録と土壌医の会の正会員となった場合のメリット

	試験合格者 (資格登録無し)	資格登録者	
		正会員以外	土壌医の会正会員
◆ 肩書(名刺等)	書けない	書ける	書ける
◆ 研修会等割引			
実践研修会等	割引なし	割引あり	割引あり
土づくりフォーラム	割引なし	割引あり	割引あり
◆ CPD 申請・取得			
申請方式	-	個人申請	会一括+個人申請
申請手数料	-	有料	無料
単位付与	-	個人への単位	個人と会の活動により 正会員に単位付加
自己研鑽単位拡大	-	-	雑誌配布(PDF 含む)
◆ 業務の広がり			
活動表彰対象	非対象	非対象	対象
活動助成	非対象	非対象	対象
講師斡旋	非対象	原則非対象	対象
※農水省データ駆動事業 (データベース活用)	非対象	原則非対象	対象
JICA 海外派遣斡旋	非対象	原則非対象	対象

※農林水産省助成事業「データ駆動型土づくり推進事業」は今年度開始

資格登録申し込み

- ◆ 土壌協会ホームページ上からの申し込み

「土壌医検定試験」 → 「検定試験関連情報」 → 「資格登録申請」



資格登録料、更新料

	料金	備考
初回登録	6,300 円	登録の有効期間は 3 年間
登録更新料	3,150 円	登録更新の有効期間は 3 年間

- ◆ 登録更新には、3 年間で 30 単位が必要で、協会又は土壌医の会の研修会等への参加、土づくりに関する活動成果に対し、継続研鑽(CPD)単位が付与されます。

土壌医の会と入会メリット

土壌医の会とは

- ◆土壌医の会は資格登録者を中心とした組織で、研鑽や交流を行うとともに、土づくりの推進を行う場です。
- ◆土壌医の会は、土壌医の会全国協議会、地域土壌医の会、事業体土壌医の会の3種類あります。土壌医の会全国協議会は全ての資格登録者が入会できます。その他の土壌医の会は資格登録者の所属企業やお住まいの地域によって入会できます。地域土壌医の会、事業体土壌医の会の会員は自動的に土壌医の会全国協議会の会員となれます。

土壌医の会の組織化数

- ★現在、土壌医の会全国協議会の他、地域土壌医の会と事業体土壌医の会が36組織化されています。地域と事業体の土壌医の会数は年々増加しており、最近では、地域土壌医の会の数が増加しています。

(表2)土壌医の会の組織化数 (2021年3月現在)

	組織化数
地域土壌医の会	20
事業体土壌医の会	16
計	36

- ★最寄りの地域土壌医の会に入会することによって (表1)土壌医資格登録と土壌医の会の正会員となった場合のメリットにありますように、情報交流の機会が増え、業務の広がりや活用場面が広がります。

(※ 地域土壌医の会については、別添の所在地、問い合わせ先等参照)

2020 年度 土壌医の会の活動概要

<全国協議会>

- ◆全国の会員が集う土壌医の会全国交流大会の開催
(優良土づくり推進活動の表彰、表彰者の活動発表等(昨年 11 月 30 日開催))
- ★2019 年度から農林水産省生産局長賞が授与されるようになりました。



- ◆今年度よりスタートした農林水産省助成事業「データ駆動型土づくり推進事業」の実施
(土壌医資格登録者が中心となり現在約 3,000 圃場で推進)
- ◆地域重要問題研究会の開催(例年、地域土壌医の会と共催で現地研修会実施、今年度コロナ渦で中止)
- ◆農業大学校への出前研修の講師
- ◆農林水産省が主催する農家を対象とした土づくりセミナー(全国約 30 か所以上で開催)の講師
- ◆土づくり実践研修会の開催と講師(例年 3 回開催、今年度はコロナ渦で中・上級レベル実践研修会のみ実施) など

<地域土壌医の会>

- ◆農林水産省助成事業「データ駆動型土づくり推進事業」今年度は 9 地域土壌医の会が実施。
- ◆今年度研修会の開催はコロナ渦の中で全体に少なかったですが、活動や仲間を広げるため土壌医検定試験に向けた研修会等を実施

(★詳しくは協会 HP 地域土壌医の会の案内をご覧ください。活動内容等を掲載しています。)

2020 年度から新たに開始した土壤医の会の取組み

〈活動面〉

★農林水産省助成事業「データ駆動型土づくり推進事業」の実施

- ★産地で作物の生育等改善を図るため、土壌の化学性や物理性の診断を行い、生育等が劣る要因を明確にし、改善対策を実施します。この結果をデータベース化し診断の効率化を図ります。（農林水産省の新規助成事業で3か年事業、1産地2か年継続実施）
- ★事業の実施は土壤医の会全国協議会、関係県、土壤協会、NTT が連携して行いますが、現地での事業実施は主に土壤医の会の会員や土壤医資格登録者が担当しました。
- ★今年度は、青森県、秋田県、茨城県、新潟県、長野県、埼玉県、千葉県、静岡県、兵庫県、香川県、福岡県、宮崎県の12県で実施しました。



（実施に先立ち研修会）



（貫入式土壌硬度計による会員による測定）



（貫入式硬度計での測定結果）



（耕盤層のため寸詰まりとなったダイコン）

★土壤医の会通信の発行

- ★土壤医の会会員や土壤医等資格登録者との情報交流を密にするため本年度から土壤医の会通信を発行しました。
- ★今年度は5号発行し「データ駆動型土づくり推進事業」の動き等関係情報を提供いたしました。（右 創刊号一部抜粋）

土壤医の会通信

土壤医の会通信を創刊しました。
～土壤医の会全国協議会～

データ駆動型土づくり推進事業 について

（一財）日本土壤協会、関係地方公共団体、NTT データ等と共に「土壤医の会全国協議会」も参加した協議会が、農林水産省の補助事業である「データ駆動型土づくり推進事業」における「補助金交付候補者」に選定されました。今後この事業を進めるための各種準備を行います。

2020年5月号（創刊号）

- ・データ駆動型土づくり推進事業について～お知らせ～
- ・土壤医の会の皆様のご協力が上記事業を支えます
- ・資格登録と土壤医の会所属で活躍の場を拡大
仕事・個人で資格活用+グループ（土壤医の会）で資格活用
（資格登録は以下のURLをご参照ください）

<http://www.doiken.or.jp/mages/2020/register1.pdf>

<https://business.form-mailer.jp/fms/c326acae115130>

★資格更新：<http://soil-doctor.net/renew>

★土壤医ネットワークで情報交換 <http://soil-doctor.net/home-2>

ログインIDを取得するには資格登録をする際にメールアドレスの記載が必要です。

<CPD 面 >

★CPD 単位取得機会が拡大しました。

研修会等の開催が新型コロナウイルス流行の関係で少なくなっています。昨年 8 月から新たな CPD メニューがスタートしました。

(新 CPD 評価メニュー)

- ①現地圃場の土壌調査・測定を通じた農家等への診断指導 … 5 単位/半日
(データ駆動型土づくり推進における貫入式土壌硬度計での測定が含まれます。)
- ②協会ウェブサイト「土壌医ネットワーク」で提示される演習問題への回答で CPD 単位取得が可能
今年度は次のような演習問題を実施しました。
「択一問題への回答(土づくりアドバイザーと土づくりマスター対象) … 正解割合 8 割以上の場合 4 単位」
土壌診断事例問題への回答(全資格登録者が対象)も実施しています。(2 課題で 8 単位)

土壌医の会入会申し込み

◆土壌協会ホームページ上からの申し込み

「土壌医の会全国協議会」→「入会手続き等」



土壌医の会会員の年会費

(表 3) 会員の種類別年会費

会員の種類	年会費	備考
正会員(ゴールド)	10,000 円	◆「作物生産と土づくり」の配布と閲覧(PDF)及びダウンロード用パスワードを送付
正会員(シルバー)	6,000 円	◆「作物生産と土づくり」の閲覧(PDF)及びダウンロード用パスワードを送付

◆年会費は土壌医の会全国協議会(事務局:土壌協会)に納入して下さい。

◆複数の土壌医の会に属している場合においても、土壌医の会全国協議会への会費納入額に変更はありません。

(地域土壤医の会の所在地、問い合わせ先等)

地域土壤医の会の活動詳細は、資格登録者専用ウェブサイト上で紹介していますのでご覧ください。 <http://soil-doctor.net/club>

名 称 (都道府県順)	事務局所在地	会 長	webサイト	webサイトまたは事務局宛てメール
北海道オホーツク土壤医の会	北海道	佐藤 富則 (土壤医)		kak2@hotmail.com
札幌土壤医の会	北海道	根本 浩 (土壤医)		h-ishigaki@kk-tanbaya.co.jp
秋田土壤医の会	秋田県	金田 吉弘 (秋田県立大学名誉教授)		hayakawa@akita-pu.ac.jp
茨城土壤医の会	茨城県	屋代 幹雄 (土づくりマスター)		masahiro_mitsuboshi@katakuraco-op.com
柏土壤医の会	千葉県	高野 典子 (土壤医)	○	http://kashiwanpo.genki365.net/gnkk07/mypage/index.php?gid=G000570
両総土壤医の会	千葉県	長谷川 智重 (土づくりマスター)	○	https://peraichi.com/landing_pages/view/ryousousoil-doctors/
首都圏土壤医の会	東京都	高山 晃 (土壤医)	○	http://首都圏土壤医.jp/
新潟県土壤医の会	新潟県	長谷川 雅義 (土壤医、新潟県十日町地域振興局)		woyanagi@ari.pref.niigata.jp
信州土壤医の会	長野県	吉田 清志 (土壤医、JA全農長野)		yamada@matsumoto-biken.co.jp
三重県土壤医の会	三重県	近藤 芳弘 (土壤医、三重県病害虫防除所)		kondoy01@pref.mie.lg.jp
近畿土壤医の会	大阪府	間藤 徹 (京都大学教授)		uchiyama@dgcbase.jp
山陰土壤医の会	島根県	松本 真悟 (島根大学教授)		kasuga@life.shimane-u.ac.jp
愛媛土壤医の会	愛媛県	上野 秀人 (土壤医、愛媛大学教授)		dojoi@agr.ehime-u.ac.jp
高知土壤医の会	高知県	山崎 浩司 (土壤医)		hyamasaki169@gmail.com
福岡土壤医の会	福岡県	一百野 昌世 (土づくりマスター)	○	https://www.agrigarden.co.jp/soil-doctor/
北部九州土壤医の会	福岡県	染谷 孝 (佐賀大学教授)		masatoshi_nonoshita@katakuraco-op.com
九州土壤医の会	長崎県	大畑 和生 (土壤医)		saw_50arashi@outlook.jp
大分土壤医の会	大分県	小野 忠 (元大分県農林水産研究指導センター)		akira_ebuchi@katakuraco-op.com
宮崎土壤医の会	宮崎県	赤木 康 (元宮崎県総合農業試験場)		kuroki.t@ryoto.co.jp
沖縄土壤医の会	沖縄県	宮丸 直子 (土壤医)		mail@okinawa-nougyou.net